

4年生 総合的な学習「ともに生きる～あたたかいまちをめざして」

4年生は「福祉」の学習で、だれもが暮らしやすい町にするためにどんなことができるか、1学期から学習を進めています。熊野町社会福祉協議会の方々にご協力をいただき、目が見えない方・耳が聞こえない方・足が不自由な方・高齢者・妊婦さんなどの疑似体験をしました。この体験を通していろいろな立場の方の思いや願いを感じ取れたようです。2学期からは、この体験を生かして、たくさんの人々が使う「公園」に着目し、みんなが使いやすく楽しめる公園をつくるには何が必要なのかを考えていきます。筆の里工房の近くの広場に、令和8年に完成予定の公園が作られる予定ですが、なんと、その公園づくりに子供たちのアイデアを取り入れていただけることになりました。これからの学習が楽しみです！

見えない体験



妊婦体験

